

日本製粉(株) 第2四半期の連結業績および通期連結業績予想

—販売の拡大とコスト削減により増収増益—

< 連結業績の概要 >

(%表示は対前年同四半期比率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	167,586	104.2	5,346	118.8	6,377	116.3	4,031	113.5
2018年3月期第2四半期	160,760	102.8	4,501	83.3	5,484	90.4	3,551	85.5

< 連結業績のポイント >

- 売上高は、製粉・食品・その他事業ともに販売の増加等により増収
- 利益面では、売上増による利益拡大・コスト削減等により増益

< 連結業績の概況 >

日本製粉(株)(社長 近藤雅之)の2019年3月期第2四半期につきましては、企業業績や雇用情勢の改善により緩やかな回復基調で推移しましたが、原油価格の高騰や米国の通商政策など懸念材料が多く、先行きの不透明感が増しています。

食品業界におきましては、消費者の低価格志向が根強く残る中、人手不足による人件費の高騰や原料高などのコスト上昇が加わり、依然厳しい状況が続いています。一方で、国内の人口動態の変化やシニア層の増加、女性の社会進出、共働き世帯の増加、単身世帯の増加といった生活者の変化に合わせて加工食品、冷凍食品、中食などのニーズが高まっています。

こうした状況の下、当社グループは、絶えず変化を続ける事業環境に対して、柔軟かつスピーディに対処するため、コスト削減と販売の拡大を軸に、従来の基本施策を踏襲した事業基盤の強化に取り組んでおり、今後成長が見込まれる分野への積極的な投資や、生産拠点の再構築など、持続的成長を目指し邁進しております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は1,675億8千6百万円(前年同期比104.2%)、営業利益は53億4千6百万円(同118.8%)、経常利益は63億7千7百万円(同116.3%)、親会社株主に帰属する四半期純利益は40億3千1百万円(同113.5%)で増収増益となりました。

< 連結業績予想 >

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期 通 期	350,000	108.2	12,000	119.3	13,500	113.8	9,000	117.6

2019年3月期の連結業績予想につきましては、本年5月10日に公表いたしました予想数値から変更はありません。また、配当金につきましては、現時点では1株につき年間30円を予定しております。